

市町村名	名護市							
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	ICT機器活用推進事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア 確かな学力を身に付けるための 教育の推進			
担当部課名	教育委員会	学校教育課	事業実施 年度	令和 2	～ 令和 2	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(1)	
事業内容	児童生徒の情報活用能力の育成環境を整備するため、市立小中学校の特別教室等に電子黒板、その他周辺機器を設置し、児童生徒の学習への興味・関心を高め、学習意欲の向上を図る。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		R2年度	○年度	○年度	○年度	合計		
	A. 予算現額	38,137				38,137		
	B. 執行済額	37,255				37,255		
	うち 交付金充当額	29,804				29,804		
	執行率(%) (B/A)	97.7%				97.7%		
執行状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・予算については、事業計画どおりに適切な予算執行を行った。 ・最終的な執行率は97.7%となり、概ね計画的に執行できた。 							
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況					
				R2年度	○年度	○年度	○年度	○年度
	市立小中学校へ電子黒板、その他周辺機器等のICT機器の整備を行う。		目標	小中一貫教育校2校4台 中学校6校12台 小学校11校11台				
			実績	小中一貫教育校2校4台 中学校6校12台 小学校11校11台				
			目標					
			実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況					
				R2年度	○年度	○年度	○年度	○年度
	R3.3月までに名護市立小中学校19校に電子黒板27台を整備する。		目標	27台				
			実績	27台				
			目標					
			実績					

事業完了後の取り組み

成果目標(指標)		達成/進捗状況				
		R3年度	○年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果					
	【R3成果目標】 ①教員を対象にアンケート調査を実施し、授業においてICT機器を活用できた割合80%以上	目標	①80%以上			
		実績	①87.6%			
	②児童生徒を対象にアンケート調査を実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答える割合80%以上	目標	②80%以上			
	実績	②80.4%				
状況説明	【R3年度】 ・納入した電子黒板を活用できた教職員及び当機器を活用した授業が分かりやすかったと回答した児童生徒共に目標を達成した。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)		【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R3年度】 ・R2年度よりGIGAスクール構想が本格的に始まり、その伴いICT機器等の活用が進んだものと思われる。 【 R3年度】 ・ コロナ感染防止対策も取りつつ呼びかけるも結果が対象としている修学旅行のキャンセルが続き、集客に苦慮している。		【R3年度】 ・活用の向上のため、各学校へ追加でICT機器等を整備していくことが必要となる。				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)						
【R4年度】 ・教職員へICT機器等を追加配布し、積極的に活用を行いやすい環境を整備することで、教職員の活用率及び児童生徒の学習への興味・関心を高め、学習意欲の向上を図る。						

市町村名	名護市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】						
事業名	名護市工場適地等構想地調査事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(10)-ア 雇用機会の創出・拡大と求職者支援	
担当部課名	地域経済部	商工・企業誘致課	事業実施 年度	令和 元 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-2
事業内容	工場適地を確保するための手段・方向性を決定するため、市内において、工場適地等構想の調査を行う。					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		令和元年度	○年度	○年度	○年度	合計
	A. 予算現額	8,250				8,250
	B. 執行済額	8,250				8,250
	うち 交付金充当額	6,600				6,600
	執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%
執行状況の説明	事業計画どおり執行した					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		R1年度	○年度	○年度	○年度	○年度
	工場適地等構想地の調査	目標	調査完了			
	1.名護市における工場立地環境の現状 2.工場立地に関する社会的背景と動向、ニーズ調査	実績	調査完了			
	3.工場立地に求められる条件整理 4.土地利用方針の検討	目標				
	5.名護市における工場適地候補地の抽出 6.開発手法の検討、概算工事費の算出	実績				
	7.工場適地候補地の評価 8.工場立地促進方策と課題 9.検討委員会の運営	目標				
	実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
		R1年度	○年度	○年度	○年度	○年度
	新たな工場適地指定に向けた調査報告書の策定完了(=方向性の決定)	目標	策定			
		実績	策定			
		目標				
		実績				
	目標					
	実績					

事業完了後の取り組み

成果目標(指標)		達成/進捗状況				
		○年度	○年度	○年度	○年度	R3年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果					
	【R3成果目標】 工場適地の指定	目標				1地域
		実績				0地域
		目標				
実績						
状況説明	<p>【R2年度】 ・名護市内への工場等の立地を希望する企業に効率的な工場立地を促すため、北部地区宅地建物取引業者会と不動産情報を共有する協定を結び、引き続き連携をとっていく体制を整えた。新型コロナウイルス感染症の影響で企業の動向を把握することが厳しい状況であったため、新たな工場適地の指定に向けた方向性の検討が困難だった。</p> <p>【R3年度】 ・北部地区宅地建物取引業者会と不動産情報を共有する協定に基づき、連携・協力を継続して行っている。新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、企業の動向を把握することが厳しい状況であったため、新たな工場適地の指定に向けた方向性の検討が困難だった。</p>					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)		【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【R2年度】 ・調査報告書にて、候補地となった地区内において、R3年度中に竣工予定の新たな工場進出があった。今後の工場誘致の取組を行う上で、参考とした。</p> <p>【R3年度】 ・コロナ感染防止対策も取りつつ呼びかけるも結果が対象としている修学旅行のキャンセルが続き、集客に苦慮している。</p>		<p>【R2年度】 ・工場進出の契機となるよう、新たな工場適地の指定に向けた方向性を検討し、各関係機関との調整を継続して行う必要がある。</p> <p>【R3年度】 ・新たな工場適地の指定に向けた方向性を検討するため、企業の工場進出に関するニーズや動向を情報収集し、各関係機関との調整を継続して行う必要がある。</p>				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)						
<p>【R2年度】 ・国・県との工場用地の情報収集・共有を図り、県内に進出を希望する企業へのニーズ対応に向けた計画的な企業誘致インフラ整備を図り、新たな工場の立地に繋げていく。また、協定を結んだ北部地区宅地建物取引業者会と連携を図り、工場等の立地を希望する企業が進出しやすい情報提供を行っていく。</p> <p>【R3年度】 ・国・県・北部地区宅地建物取引業者会との工場用地の情報収集・共有を継続的にを行い、県外を含めた事例の収集や工場立地を検討する企業の動向やニーズの情報収集を引き続き行い、屋部工場適地の活用と合わせて、新たな工場適地の指定に向けた方向性を検討していく。</p>						

市町村名	名護市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	名護市食鳥処理施設整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ウ 農林水産物の安全・安心の確立	
担当部署名	農林水産部	園芸畜産課	事業実施 年度	平成 28	平成 28	年度 III-1-(6)	
事業内容	新たな食鳥処理施設の整備に必要な用地を取得することによる事業環境の整備を通じ、食鳥処理施設の再編や県内鶏肉の衛生・品質管理の高度化を促進する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		28年度	28年度(繰越)			合計	
	A. 予算現額	639	328,024	-	-	328,663	
	B. 執行済額	486	277,350	-	-	277,836	
	うち 交付金充当額	389	221,880	-	-	222,269	
	執行率(%) (B/A)	76.1%	84.6%	-	-	84.5%	
執行状況の説明	農業振興地域計画の総合見直しに異議申し立てがあり、当該用地取得に必要な農地転用手続きに不測の日数を要したことから328,024千円を平成29年度へ繰越して実施した。 公有財産取得費において、実施設計により建物配置等が精査されたことから用地面積が17,668㎡から16,658㎡へ縮小されたことと、土地鑑定により、土地単価が概算値より減額となったため、40,661千円の不用額が生じた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度				
	施設整備に必要な用地購入	目標	施設整備に必要な用地購入	-	-	-	-
		実績	施設整備に必要な用地購入	-	-	-	-
		目標					
		実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H28年度				
	施設整備に必要な用地取得の完了 購入面積:17,668㎡	目標	完了	-	-	-	-
		実績	完了	-	-	-	-
		目標					
		実績					

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況					
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度 目標/発現年度	
	処理羽数(食鳥処理施設)		目標	15,000羽/日	15,500羽/日	16,000羽/日	16,500羽/日	17,000羽/日
			実績	13,503羽/日	13,926羽/日	14,350羽/日		
			目標					
		実績						
状況説明		<p>【R1年度】 ・食鳥処理施設の処理羽数は13,503羽/日となり目標を下回っている。(達成率90%)</p> <p>【R2年度】 ・食鳥処理施設の処理羽数は13,926羽/日となり昨年より423羽/日増加したが、目標を下回っている(達成率90%)</p> <p>【R3年度】 ・食鳥処理施設の処理羽数は14,350羽/日となり昨年より424羽/日増加したが、目標を下回っている(達成率90%)</p>						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)					
<p>【R1年度】 ・食鳥処理施設の処理羽数が下回っていることについて、供用開始後の機器調整に時間を要したことにより、処理羽数が少なくなったことが大きな要因と考えられる。 今後は順調に処理羽数が伸びることが想定される。</p> <p>【R3年度】 ・コロナ感染防止対策も取りつつ呼びかけるも結果が対象としている修学旅行のキャンセルが続き、集客に苦慮している。</p> <p>【R3年度】 ・処理羽数は増加しているものの、9月の台風の影響により有精卵の入荷ができなかったことが、処理羽数に影響している。また、外部環境の変化として原油等の高騰による生産コストの増加が見られる。</p>			<p>【R1年度】 ・随時状況を確認し、目標達成に係る課題の抽出、必要な支援を行う必要がある。</p> <p>【R2年度】 ・随時状況を確認し、目標達成に係る課題の抽出、増羽及び暑熱対策を含め必要な支援を行っていく。</p> <p>【R3年度】 ・随時状況を確認し、目標達成に係る課題の抽出、増羽を含め必要な支援を行っていく。</p>					
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)								
<p>【R1年度】 ・毎月の稼働状況報告の確認、必要に応じてヒアリング等を実施し、目標達成に係る課題の抽出、必要な支援を行う。</p> <p>【R2年度】 ・毎月の稼働状況報告の確認、必要に応じてヒアリング等を実施し、目標達成に係る課題の抽出、増羽及び暑熱等を含め必要な支援を行う。</p> <p>【R3年度】 ・毎月の稼働状況報告の確認、必要に応じてヒアリング等を実施し、目標達成に係る課題の抽出、増羽を含め必要な支援を行う。</p>								

市町村名		名護市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	観光情報インフラ(Wi-Fi)整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ 観光客受入体制の整備		
担当部課名	地域経済部	観光課	事業実施 年度	平成 30	令和 2	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	
事業内容	外国人を含む観光客等の利便性を確保するため、名護市の中心市街地を中心とした名護大通り及び周辺通りにWi-Fi拠点(無線LANアクセスポイント)を整備する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計	
	A. 予算現額	2,200	71,170	0	0	73,370	
	B. 執行済額	2,149	71,170	0	0	73,319	
	うち 交付金充当額	1,719	56,936	0	0	58,655	
	執行率(%) (B/A)	97.7%	100.0%			99.9%	
執行状況の説明	・事業実施年度は令和2年度までとなっていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、外国人を含む観光客の入込が激減している状況の中、当該事業を執行することは困難を極め見直しの判断に至った。 ・最終的な執行率は99.9%となり、概ね計画的に執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	中心市街地エリアのWi-Fi整備	目標	整備計画の策定	中心市街地エリアのWi-Fi整備	-	-	
		実績	整備計画策定完了	中心市街地エリアのWi-Fi整備	-	-	
	効果測定	目標	-	効果測定の実施	-	-	
		実績	-	効果測定の実施完了	-	-	
		目標					
		実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	Wi-Fi整備(中心市街地エリア)完了	目標	-	Wi-Fi整備の完了	-	-	
		実績	-	Wi-Fi整備の完了	-	-	
	効果測定の完了	目標	-	効果測定の実施完了	-	-	
		実績	-	効果測定の実施完了	-	-	
		目標					
		実績					

事業完了後の取り組み						
成果目標(指標)	達成/進捗状況					○年度 目標/発現年度
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
外国人観光客等へのアンケートにおいて、「Wi-Fiが整備されたことにより、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。	目標	-		-	80.0%	
	実績	-		-	未実施	
	目標	-		-	-	
	実績	-		-	-	
状況説明	【R3年度】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、外国人を含む観光客が激減したため、アンケート調査ができる状況にないことから、事業検証ができなかった。今後、新型コロナウイルス感染症の収束状況をみながらアンケート調査を実施する。					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)			
【R3年度】 新型コロナウイルス感染症の影響により、外国人を含む観光客が激減したため、事業検証ができる状況にない。 【 R3年度】 ・ コロナ感染防止対策も取りつつ呼びかけるも結果が対象としている修学旅行のキャンセルが続き、集客に苦慮している。			【R3年度】 ・新型コロナウイルス感染症の収束状況をみながら、外国人インバウンド観光客を対象にアンケート調査が実施できるよう整え、本事業の効果検証に繋げる。			
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)						
【R3年度】 ・新型コロナウイルス感染症の収束状況をみながら、外国人インバウンド観光客を対象にアンケート調査が実施できるよう整え、本事業の効果検証の結果を踏まえ更なる利便性の向上を図る。						

市町村名	名護市							
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	21世紀の森体育館機能強化事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ スポーツアイランド沖縄の形成		
担当部課名	地域経済部	文化スポーツ振興課	事業実施 年度	令和 1	~ 令和 2	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	スポーツコンベンション誘致件数の増加を図るため、バレーボール支柱及び電光掲示板等を整備し、21世紀の森体育館の機能を強化する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		R1年度	R2年度	○年度	○年度	合計		
	A. 予算現額	80,868	5,201			86,069		
	B. 執行済額	61,493	3,209			64,702		
	うち 交付金充当額	49,194	2,567			51,761		
	執行率(%) (B/A)	76.0%	61.7%	#DIV/0!	#DIV/0!	75.2%		
執行状況の説明	入札執行に伴う不要額が生じ、執行率は61.7%となった。							
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況						
			R2年度	○年度	○年度	○年度		
	備品購入	目標	備品購入完了					
		実績	備品購入完了					
		目標						
		実績						
	目標							
	実績							
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況						
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	備品購入	目標	備品購入完了					
		実績	備品購入完了					
		目標						
		実績						
	目標							
	実績							

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input checked="" type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果			令和3年度	〇年度	〇年度	〇年度
							目標/発現年度
	スポーツ合宿件数	目標	9件				
		実績	2件				
施設利用人数	目標	111,400名					
	実績	56,302名					
状況説明	【R3年度】 ・スポーツ合宿件数は2件となっており、目標を下回っている。 ・施設利用人数は56,302名となっており、目標を下回っている。						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R3年度】 ・スポーツ合宿件数が目標を下回っていることについて、新型コロナウイルス感染症によるものと思慮される。また、それらによる、施設の休館措置や利用制限の影響があったと思われる。 ・施設利用人数が目標を下回っていることについて、新型コロナウイルス感染症により、施設の休館措置や利用制限の影響があったと思われる。			【R3年度】 ・コロナ禍における施設のガイドライン等含め、感染対策を行いながらの利用方法についても合宿誘致及び施設の利用促進に向け情報発信する必要がある。				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)							
【R3年度】 ・新型コロナウイルスに関する国や県の方針を踏まえつつ、施設管理者とも連携を図りながら、引き続きHPや市の広報機能を活用して県外の実業団や大学、利用団体に対し、施設機能の紹介やスポーツ合宿助成金の情報発信を行っていく。また、名護市広報担当部署における市の魅力をPRする事業も活用しながら、情報発信の強化を図る。							

市町村名	名護市
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】	

事業名	やがじ地域観光拠点整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-Ⅲ-(2)-カ 産業間連携の強化
担当部課名	地域経済部 観光課	事業実施年度	平成28 ~ 令和3年度 沖縄振興基本方針該当箇所
事業内容	やがじ地域の観光地周辺及び観光体験施設の整備を実施する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()		

事業期間中の予算額・執行額【単位:千円】		~H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計
	A. 予算現額	221,680	71,544	196,993	276,177	766,394
	B. 執行済額	129,399	64,129	48,854	24,911	267,293
	うち 交付金充当額	102,248	51,303	39,082	19,928	212,561
	執行率(%) (B/A)	58.4%	89.6%	24.8%	9.0%	34.9%
執行状況の説明	H30年度は農業体験施設整備においてオリンピックの開催に向けて全国的に鉄不足が生じ高力ボルトなどの部品や鋼材が入手困難となり繰越となった。 R1年度ではオランダ墓アクセス通路整備において物件補償交渉が難航し、繰越となった。					

事業期間中の活動目標	活動目標(指標)	達成状況						
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	農業体験施設整備	目標	基本計画策定	ビニールハウス整備・実施設計(出荷選別施設)	建築工事(出荷選別施設)	建築工事(出荷選別施設)		
		実績	実施	実施	実施 R1へ繰越	完了		
	オランダ墓アクセス通路整備	目標	基本計画策定	実施設計	物件補償設計	物件補償	・物件補償 ・通路工事①	・通路工事① ・通路工事②
		実績	実施	実施	実施	R2へ繰越	通路工事①はR3へ繰越	・工事①完了 ・工事②R4繰
	塩づくり体験施設	目標	基本計画策定	基本設計	実施設計	・用地測量 ・不動産鑑定評価 ・用地購入	・用地購入 ・開発許可申請業務 ・土木造成工事	・用地購入(8筆) ・土木造成工事 ・開発許可申請
実績		実施	実施	実施	用地購入 R2へ繰越	開発許可申請、土木造成工事未実施	未実施	

事業期間中の成果目標	成果目標(指標)	進捗状況						
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	農業体験施設整備	目標	基本計画策定	ビニールハウス整備・実施設計(出荷選別施設)	建築工事(出荷選別施設)	建築工事(出荷選別施設)		
		実績	実施	実施	実施 R1へ繰越	完了		
	オランダ墓アクセス通路整備	目標	基本計画策定	実施設計	物件補償設計	物件補償	・物件補償 ・通路工事①	・通路工事① ・通路工事②
		実績	実施	実施	実施	R2へ繰越	通路工事①はR3へ繰越	・工事①完了 ・工事②R4繰
	塩づくり体験施設	目標	基本計画策定	基本設計	実施設計	・用地測量 ・不動産鑑定評価 ・用地購入	・用地購入 ・開発許可申請業務 ・土木造成工事	・用地購入(8筆) ・土木造成工事 ・開発許可申請
実績		実施	実施	実施	用地購入 R2へ繰越	開発許可申請、土木造成工事未実施	未実施	

事業完了後の取り組み						
事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		R2年度	R3年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度
	利用率(農業体験施設)	目標	10.0%	10.0%		
実績		0.5%	0.1%			
修学旅行受入校数	目標	100校	120校			
	実績	0校	4校			
状況説明	<p>【 R2年度】 ・新型コロナウイルス蔓延に伴い、修学旅行の中止が相次ぎ、民泊者の予約もキャンセルとなった。</p> <p>【 R3年度】 ・新型コロナウイルス蔓延に伴い、修学旅行の中止が相次ぎ、民泊者の予約もキャンセルとなった。</p>					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)			
<p>【 R2年度】 ・コロナ禍の中で、集客することに対し積極的になれなかった。事業効果を確認することが困難である。</p> <p>【 R3年度】 ・コロナ感染防止対策も取りつつ呼びかけるも結果が対象としている修学旅行のキャンセルが続き、集客に苦慮している。</p>			<p>【 R2年度】 ・修学旅行以外の地域の学校や保育所等へ呼びかけ無償で体験を実施し、認知度向上を図った。</p> <p>【 R3年度】 ・施設内で月1回の朝市を実施するとともに施設案内などを実施</p>			
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)						
<p>【 R2年度】 ・修学旅行生にのみにターゲットを絞らず、市内、県内の学校や保育園へ体験学習の場として広くPRする。 ・感染症対策を十分に図り、コロナ禍においても活動できる取り組みを構築する。</p> <p>【 R3年度】 ・残りの2施設の整備を完了させ、分散させた体験学習の場を提供し、密を避けた施設利用を進める。</p>						